

# 20年度の取り組みと今後の課題など

## 子どもたちに元気・笑顔・夢を、子育てに安心と喜びを

すべての子どもが地域の温もりに包まれて、心身ともに健やかでたくましく育つことができ、子どもを生き育めたいと願うすべての人が、自分らしい生き方をしつつ、安心と喜びをもって子育てができる。社会の実現に向けて、行政、地域、家庭、企業などが一体となって取り組みを推進していきます。

本町では「子どもを生き育めやすいまち」をめざし、子どもの健やかな成長を家庭や地域がともに支え合い、安心と喜びをもって子育てができる社会の実現のため、平成21年度を目標年度に定めた5年間の計画を実施しています。

今回は平成20年度の取り組みを中心に各種の事業をお知らせします。



### 次世代育成支援行動計画の進捗状況

事業計画が平成21年度の計画目標達成に向けてどの程度進捗したかを次のように示しています。

事業計画	記号	進捗状況	
		進捗状況	進捗状況
◎	順調	計画目標達成に向けて、順調に進捗しているもの。	
○	やや遅れ	計画目標達成に向けて、やや遅れが見受けられるもの。	
△	遅れ	計画目標達成に向けて、遅れが見受けられるもの。	
×	未実施	事業実績が未実施のもの。	

行動計画110事業の平成20年度進捗状況は、75%の事業が順調に進捗しています。

具体的な取り組み	進捗状況別事業数				
	◎	○	△	×	合計
1 地域における子育て支援を推進する	26	11		1	38
2 子どもと母親の健康を確保する	14	2			16
3 子どもの健やかな成長を導く教育環境を整備する	18				18
4 子育てを支援する生活環境を整える	2	7		1	10
5 職業生活と家庭生活の両立を支援する	2				2
6 子ども等の安全を確保する	6	2	2		10
7 要保護児童への対応などきめ細かな取り組みを推進する	15	1			16
合計	83	23	2	2	110

### 菊陽町次世代育成支援行動計画における特定事業の実施状況(20年度)

目標設定項目	平成16年度実施事業量等	平成20年度実施事業量等	平成21年度目標事業量等	進捗状況
◎ファミリーサポートセンターの実施箇所数、協力会員数	1カ所 89人	1カ所 152人	1カ所 150人	協力会員数は徐々に増えてきています。
◎放課後児童健全育成事業(学童保育)実施箇所数、定員数	4カ所 248人	5カ所 387人	5カ所 394人	昨年度から比較すると、利用者が減少し目標事業量をわずかに割り込みました。
◎ショートステイ事業の実施箇所数、定員数	1カ所 2人	2カ所 2人	2カ所 2人	目標に達しました。
◎トワイライトステイ事業の実施箇所数、定員数	1カ所 2人	2カ所 2人	2カ所 2人	目標に達しました。
◎施設型病後児保育事業の実施箇所数、定員数	1カ所 3人	1カ所 3人	1カ所 3人	現状維持
◎一時保育事業の実施箇所数、定員数	1カ所 10人	2カ所 20人	2カ所 20人	目標に達しました。
◎つどいの広場事業の開設箇所数	1カ所	1カ所	1カ所	現状維持
◎地域子育て支援センター設置箇所数	2カ所	2カ所	2カ所	現状維持
◎通常保育事業の定員数(入所児童数)	790人	944人	940人	引続き定員増を図ります。
◎延長保育事業の実施箇所数、定員数	7カ所 52人	8カ所 80人	8カ所 110人	実施箇所数は目標に達しました。引続き定員増を図ります。
◎休日保育事業の実施箇所数、定員数	-	-	1カ所 10人	引続き1カ所の保育所での実施を検討します。

### ①地域における子育て支援を推進する

#### 主な取り組み

- ・放課後児童健全育成事業(学童保育)：大規模クラブの武蔵ヶ丘小学校学童元気育成クラブ分割のため、熊本県と協議をし、21年度に準備を行いました。
- ・つどいの広場事業：延べ利用組数1,882組(19年度2,007組) 延べ利用人数3,655人(19年度4,502人)
- ・病後児保育事業：延べ利用者数536人(19年度446人) 登録者数148人(19年度138人)
- ・子育て支援拠点事業：陽だまり・あいあい・ゆつくりーむ・光の森キャロット保育園(認可保育所)の各施設で、育児講座、園開放、育児相談事業など子育て支援事業に取り組ましました。

- ・親子一緒に楽しめるイベントとして第4回目の陽(ひかり)っ子まつりを開催しました(約500人参加)。
- ・今後の課題と方向性  
居宅における児童養育支援事業は、社会福祉協議会で行っている「キャロットサービス」で、柔軟な対応をしています。学童保育は、武蔵ヶ丘小学校の大規模クラブの分割を21年度に行います。21年度は、前期計画の最後の年であり、18年度から開始した子育て支援連絡会議でのネットワークづくりを図りながら、計画の達成に向けて引続き事業に取り組みます。

### ②子どもと母親の健康を確保する

#### 主な取り組み

- ・乳幼児健診の受診率向上の推進により、各健診の受診率は向上しました。
- ・生き生き子育て相談、1歳児健康相談を

### ③子どもの健やかな成長を導く教育環境を整備する

#### 主な取り組み

- ・職場体験学習：菊陽・武蔵ヶ丘両中学校は、3~5日間の職場体験を行いました。
- ・不登校対策：不登校対策協議会会議を学期ごとに開催し、関係機関との連携および情報の共有を図りました。
- ・学校施設の整備：菊陽北小学校の耐震補強工事が完了しました。
- ・今後の課題と方向性  
21年度は、環境整備として武蔵ヶ丘中学校の耐震補強工事を行います。今後も関係部署が連携を図り、各種情報の共有をすることで、家庭・地域・社会の教育力を高めるよう取り組めます。

### ④子育てを支援する生活環境を整える

#### 主な取り組み

- ・公営住宅事業：町営住宅原水団地が20年度に10戸完成。19年度の実施分と併せて30戸の建設を完了しました。
- ・幅の広い歩道の整備促進：白鈴園の進入路の整備や町道の歩道整備を行いました。
- ・通学路などの防犯灯整備：未整備地区へ22基設置しました。
- ・今後の課題と方向性  
21年度は、町営光団地と古閑原団地の建て替えに伴う基本計画に基づいて、引き続き子育てを支援する生活環境の整備に取り組めます。

### ⑤職業生活と家庭生活の両立を支援する

#### 主な取り組み

- ・菊陽町男女共同参画さんさんの会の活動：会議を7回開催し「男女共同参画計画」を策定しました。
- ・男女共同参画セミナーを開催しました。
- ・今後の課題と方向性  
仕事と子育ての両立支援のため男女共同参画のまちづくりや放課後児童クラブ施設の整備に向けて取り組めます。

### ⑦要保護児童への対応などきめ細かな取り組みを推進する

#### 主な取り組み

- ・児童虐待防止対策：要保護児童対策地域協議会を中心に各種活動を行いました。
- ・ひとり親家庭への経済的支援：母子家庭医療費助成(3,241件/618万円)
- ・小・中学校への特別支援指導助手の配置：町内6小・中学校に16人配置しました。
- ・今後の課題と方向性  
児童虐待は、近年全国的に増加傾向にあり、本町でも今後児童虐待の予防・早期発見・迅速かつ適切な対応・支援体制の整備を図っていく必要があります。

### ⑥子ども等の安全を確保する

#### 主な取り組み

- ・交通安全教室を開催しました：25回の開催で、受講者数1,945人
- ・町職員による青色防犯パトロールを継続して行いました。また、自主的な地区防犯パトロール隊を支援するため、パトロール用品を1団体に支給しました。
- ・今後の課題と方向性  
スクールパトロール隊を結成し、町内全域を巡回して子どもを事件事故から守り、危険個所の点検を行います。また、引続き青色防犯パトロールを行い、「光の森自警団」の隊員数の増員などで、恒常的な組織をさらに強固なものにしていきます。さらに、PTAなどで多くの人々の参加を促し、子どもの安全確保のための活動に取り組めます。

